日本初の女性医師、荻野吟子の生涯を映画化へ。『一粒の麦』のロケマップ



吟子は、1851(嘉永４)年、旧俵瀬村(熊谷市)に生まれた。17歳で名主の家に嫁ぐが、夫から不慮の病をうつされて離婚。治療とはいえ、男性医師による診察で受けた屈辱をバネに医師を志した。
34歳で女性医師の第１号になり、女性の医学界への道を切り開いた。





3月3日は荻野吟子の誕生日、荻野吟子記念館で「吟子まつり」が毎年行われます。

荻野吟子記念館

一粒の麦・荻野吟子記念館と生誕之地公園





働く吟子。1868(慶応4)年、隣村の名主の家に嫁ぐ。吟子17歳



一粒の麦・深谷商業高等学校記念館

熊谷市出身で日本初の女性医師、荻野吟子は「女性の地位向上に尽くした先駆者」で作品として残したい人物と山田火砂子監督は話していました。





吟子は、豪商 高島嘉右衛門に紹介状をもらって、内務省衛生局長 長与専斎を訪ねて、請願を繰り返しました。



ここは、法務省。
女性にも医師開業試験(国家試験)を受験させてほしいと。内務省に直接談判。



一粒の麦・ 法務省





1891年の濃尾地震で被災した孤児たちを志方が引き取り、吟子の医院まで連れ帰る途中のシーン。熊谷市立秦小学生の女児が演じました。







一粒の麦・ふるさとの俵瀬



吟子は、荻野綾三郎と嘉与の五女「ぎん」として生まれました。

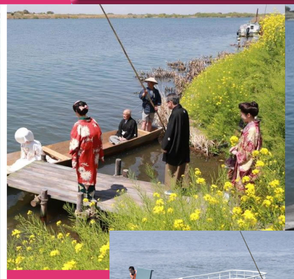


吟子の母の嘉与、姉の友子、松本萬年、義姉妹の契りを交わした松本荻江。





一粒の麦・ふるさと俵瀬



群馬県千代田町の利根川左岸の赤岩渡船場で撮影が行われました。渡船場下流には荒縄で結んだ撮影用の船着き場が設けられました。

一粒の麦・光恩寺と赤岩の渡し





映画『一粒の麦 荻野吟子の生涯』
資料提供 ㈱現代ぷろだくしょん
写真提供 ㈱トライストーン・エンタテイメント
引用元
映画『一粒の麦 荻野吟子の生涯』facebook
Imgrum#荻野吟子photos&videos
若村麻由美 mayumi wakamura official

荻野吟子記念館　埼玉県熊谷市俵瀬581-1　Copyright (C) 2019 oginoginkokinenkan All Rights Reserved.